

事務事業名		さのマラソン大会開催支援事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	4 豊かな心を育む教育・文化づくり					担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課
	政策	3 スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり					担当係	市民体育係	担当課長名	関口 吉丸	
	施策	2 スポーツツーリズムの推進					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 スポーツ観光によるまちづくり					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	15036	一般	10	5	1	さのマラソン大会開催支援事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	年度～	年度	根拠法令 条例等	市単独事業・国県補助事業		市単独事業			
						任意的事業・義務的事業		任意的事業			
						実施方法		直営			
						事業分類		支援事業			
						リーディングプロジェクト		該当			
						市長マニフェスト		3-14			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
・さのマラソン大会実行委員会に対する交付金交付事務 ・市は主催団体、実行委員会事務局としてコース設定に係る警察折衝、大会開催のPR、参加者募集、大会の開催準備・運営の全般に携わる。 (大会の内容) ・フルマラソンをメインとして計21種目を設定 ・全国各地から佐野市に多くのランナーを迎え、スポーツ(マラソン)を通して友好の輪を広げ、走る楽しさや喜びを味わってもらうとともに、本市のイメージアップを図ることを目的としている。			主な事務: 交付金支出手続き(7月)、会議開催、イベント委託業者との契約・調整、各種申請(5~12月)、市職員打合せ、大会準備・運営(12月) 主な会議: 小委員会(5~12月)、実行委員会(7月)、走路員・給水所役員打合せ(11月)、競技役員打合せ(12月) 大会開催日: H26.12.14(日)							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			会議開催回数	回	9	9	9	9	9	
			競技種目数	種目	21	21	21	21	21	
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
① マラソン愛好家			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
② (交付対象団体) さのマラソン大会実行委員会			参加(申込)件数	件	2,997	3,091	3,000	3,000	3,000	
			参加人数	人	3,267	3,365	3,400	3,400	3,400	
目的										
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
① スポーツ振興を図る。 ② 参加者の健康増進を図る。 ③ 大会の円滑な運営を支援する。 ④ また、おもてなしの心や佐野ブランドの紹介等を通して、市のイメージアップを図る。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			大会参加者の満足度(100点満点)	点	70.0	75.9	76.5	78.0	79.0	
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
スポーツツーリズムによるまちづくりについて理解している			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			スポーツツーリズムを推進する組織の設置	組織	0	0	1	0	0	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	4,430	4,430	4,430	4,430	4,430	
	事業費計(A)	千円	4,430	4,430	4,430	4,430	4,430	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			交付金	4,430	交付金	4,430	交付金	4,430
	人件費	人	5	5	5	5	5	
のべ業務時間	時間	500	550	580	580	580		
人件費計(B)	千円	1,946	2,168	2,286	2,286	2,286		
トータルコスト(A)+(B)	千円	6,376	6,598	6,716	6,716	6,716		

事務事業名	さのマラソン大会開催支援事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	担当係	市民体育係
-------	----------------	-----	---------	-----	-----------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	安佐合併を記念し、3つの大会を1本化し、フルマラソンをメインとした大会を開催する。また、ゲストランナーとして松野明美選手を招待し盛大に始まる。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	マラソン大会は全国で多数開催されているため、特色ある大会を選手が選ぶ傾向が多くなっている。そのなかで、佐野市近辺であり行っていないフルマラソンを開催することにより多くの参加者が見込める。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	交通の渋滞や、他大会との違いを明確にし、特色ある大会にしてほしいとの意見が多い。街中(南方面や庁舎付近)を走れるコースに変更してほしい旨の要望がある。全国区のランナーの参加を取り込むため、陸連の公認を取得すること。10Kmの復活。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	「支えるスポーツ」の一環としてボランティアを募集し1kmごとに距離表示のぼり旗を持って、参加ランナーを応援した。 市外からの申込割合が約72%

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	市民1スポーツの推進のため、フルマラソンから2kmコースまでの21部門(H23年度10kmコース廃止)を設定し、幅広く参加者を募り、市民の健康増進と、体力の向上、市外参加者には、市のイメージアップを図っており結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	長期の準備期間(約6ヶ月)を要し、大会当日は多くのボランティアの協力を得ているため市が主催することが妥当である。また、全国的にも多くの大会で、事務局等行政が関与している。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	市民の健康増進と、体力の向上、市外参加者には、市のイメージアップを図っており妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	準備の効率化、負担軽減の検討及び長時間公道を使用するにあたり、交通渋滞、走者や関係者の安全確保の検討。 参加者・応援者の駐車場の確保。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	大会運営には多くのボランティアで成り立っており、また国交省の指導に基づくバス料金の増額改定 等々の経費がかさみ、これ以上のコスト削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担を見直す必要がある	理由・改善案	参加料値上げについては、参加者の減少も懸念されるため、トータルの歳入確保という視点から検討したい。 H27年度にフルマラソンの参加料を値上げ予定。(H25 : 4,000円→4,500円)
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
スポーツ実施率の向上、スポーツ観光によるまちづくりを推進するために終了できない。				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。	警察等との交通渋滞、安全対策に関する改善協議																					
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持			×																			
	低下		×	×																			